

素案に対する委員意見の反映

委員意見		意見の反映
総合的な取組みの実現性を示すべき	4-1、4-2 参考資料2	狭山池博物館開館20周年に向けた、具体的な取組みを4章や参考資料2に示すとともに、目指すべき姿への展開方針を示す。
成果指標は定量的なものだけでなく、定性的なものもあるのではないか	5-②	成果指標については、来館者の目的や潜在需要など、より細かなデータを収集を行い、運営に反映させる。
良質な展示のためには研究の蓄積が必要。学術協力も考える必要がある	3-①	展示素材の収集や学術協力を進める。
超1級の土木遺産である狭山池と博物館の一体化の検討を進めること	2、3-② 4-2-②	史跡狭山池保存活用計画書に掲載されている原位置表示物から博物館へ誘導する仕掛けづくりを行う。
博物館に来ることができない人も博物館の情報を得ることができるユニバーサル化が必要	4-2-①	ホームページを改善し、展示物と解説を見ることができるようにし、博物館内部の様子も見ることができるようにする。
目で見える、触れる、体感できるという、分かりやすい模型や体験型展示が必要	4-2-② 参考資料2	体験型展示物を所有している団体との連携により展示物を借用できるよう取組む。また、官学の連携により展示物の作成に取組む。
博物館でグッズや大阪狭山市の地場の物を売ることができるか	3-③ 4-2-①	来館者に対するおもてなし向上として取組む。
博物館のボランティアが開催する部会の声の反映	4-2-①	来館者に対するおもてなし向上のため、部会とは定期的に意見交換を行う。

素案に対する委員意見の反映

委員意見	意見の反映	
事業を実施する際には3本柱のどれをやっているか意識し、館のブランディングに取組むこと	参考資料2	3本柱（「土木の歴史的価値の継承」「土木事業・土木技術の歴史／『知』の交流・発信拠点」「地域魅力創造」）を意識し、年間の事業計画を作成する。
「地域魅力創造」に関する連携相手をもっといっているのではないか	3-①	大阪狭山市と意見交換し、地元の連携団体を追加した。
防災教育の拠点化について（各委員意見）	4-2-②	防災教育の教材やプログラムを作成するなど、狭山池博物館が防災教育の拠点となるよう取組みを進めていく。